

まちあるきに着目した市街地観光に関する実態調査
—高知市における観光ボランティアと観光行政について—

実査日：平成26年11月28-30日

報告者：財団法人都市化研究公室研究員岩間真二

1. はじめに

地域再生において、観光が一つのキーワードとして挙げられる。観光は、外部から人が訪れることによって、様々な消費等を喚起することによって地域経済を活性化するという、地域を訪れるそのものが、人な流れを作り活気づくりを行うという面も考えられる。

さて、地域の活性化という面で観光を考えたときに、旧来では目玉となる施設や地域資源に資源を集中投下して、それをいわゆる観光の目玉として人を集めるということが行われてきていたが、近年、し好の多様化や、インターネット等による情報収集が容易化すると、ある意味一点突破的な観光では、他地域で同様な施設等ができる観光資源としての魅力の維持できる期間が短くなりかねない。

こういった中で、歴史的建造物や地域の歴史といった歴史的資源はある意味、普遍的であり、他地域で同じものはないといった魅力があり、陳腐化がしにくいといった特性もある。

しかしながら、京都などに代表されるような、歴史的かつそれが集積された地域は国内においても数少ないのが現状である。そこで、地方都市の市街地において、既存の地域の歴史的資源や観光資源を掘り起こし、それぞれが小規模であっても、地域の歴史という面で連ねながら一体となった観光資源として、市街地観光として活用される事例が存在する。これは、多くの資源を見ていくことになり、単一の施設等にくらべ地域の滞在時間の延長といったより地域への経済効果の向上も期待できる。

このような観光資源は、単一の施設だけでなく、石碑や、老舗の店舗、または地域の名物など様々なものを含有しており、それを資源として生かすためには案内やガイドが必要になる。

その方法として、ホームページ等による情報発信や、案内看板の設置や案内所の設置やまちあきマップの配布等があるが、現地ガイドによるまち案内もその一つの方法と言える。

市街地観光やまちあるきによる観光について調査を行うため、高知県観光コンベンション協会、高知市観光協会、土佐観光ボランティア協会へヒアリングおよび実際のまちあるきへの取材を行った。

2. 高知市について

- 概要

高知市は四国南部高知県の県庁所在地であり、人口約 34 万人弱の都市であり、県内の人口の半数弱が集中する。土佐藩の城下町として栄え、県内の政治経済の中心地である。カツオのたたき、毎年 8 月に開催されるよさこい祭り、坂本龍馬の出生地としても有名である。日曜市(後述)を含む月曜日を除き毎日市内で定期市が開かれている。

観光地としては高知城、はりまや橋、桂浜が有名である。



桂浜

3. 高知市におけるまちあるき観光について

- 高知県観光コンベンション協会

公益財団法人高知県観光コンベンション協会へのヒアリングは受入部の方へのヒアリングを行った。

観光コンベンション協会は、昭和 25 年社団法人高知県観光連盟として設立され、平成 6 年に設立された財団法人高知県コンベンションビューローと平成 14 年に統合され、現在の組織となり、平成 25 年公益財団法人へ移行された組織である。資本金のうち県の出資が約 39%、同額を高知市、その他は地元銀行や県旅館ホテル組合、日観連高知支部からの出資となっている。

事業内容は以下のとおりである

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 国内外の観光客及びコンベンションの誘致・受入に関する事業 (2) 観光事業等を推進するためのプロモーションに関する事業 (3) 高知フィルムコミッションに関する事業 (4) スポーツ観光の推進に関する事業 (5) 地域観光の推進に関する事業 (6) 高知駅前観光拠点施設の管理運営等に関する事業 (7) 旅行業法に基づく旅行業及び代理店業 (8) 観光物産振興のための催事及びイベントの開催に関する事業 (9) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業 |
|--|

県全体の観光に関する業務を行っているが、特徴的なのは他県の一般的な県の観光組織では一般的に各自治体の観光行政のつなぎ役としての役割が主なものに

対し、具体的な事業を多く行っていることである。高知駅前に観光情報発信のための「とさてらす」を運営している。



とさてらす

その他にも、おもてなしタクシーの認定制度、高知駅と桂浜を結ぶ MY 遊バスの運営を行っている。

おもてなしタクシーの認定制度は平成 19 年度より行われている制度で、観光ガイド案内と共にホスピタリティーの向上を目的としたもので、現在 300 名弱の認定ドライバーがいるとの事。適応範囲は県全体であるが、高知市の割合が高いとの事でその他、四万十市や県西部で比較的多い。認定のために講習が行われ、認定試験が実施される。接客技術と、観光基礎に関する内容について、1 日かけて講習を行い、別日に試験が行われ、合格率はおおよそ 9 割との事。認定されると車両に宴会のマークのシールが張られているのが特徴である。

おもてなしタクシーはフィードバックのため定期的にアンケートを行っており、満足度 5 割強で増加傾向にあるが 7-8 割程度までは上げていきたいということである。



高知駅前のおもてなしタクシー乗り場とマーク



おもてなしタクシー

MY 遊バスは高知駅前から桂浜へ運航する定期観光バスである。民間で行われていた定期観光バスが廃止になったのに代わり平成 16 年に開始されたものあり当初は土日祝日及び大型連休、夏休みの期間に限定していたがドラマ「龍馬伝」を契機に平成 21 年 11 月からは毎日運航している。桂浜は他の観光地から遠い為、市街地観光の貴重な足となっている。利用者数は一日平均 150 名程度、年間の 32000 人程度の利用があるとの事。

バス事業の認可手続きはバス会社が行い協会では、運航委託及び広報、チケット販売を行い県及び市から補助金が出ているとの事である。



MY 遊バス

- 高知市観光協会協会

高知市観光協会は昭和 26 年に高知市観光課管理下の任意団体として発足し、平成 10 年に社団法人として独立、平成 25 年 4 月より公益社団法人となっている。会員数約 180、理事会の元に事務局があり、理事が 22 名、事務局は 10 名、市から運営委託を受けているよさこい情報交流館に 5 名という構成になっている。

事業は、よさこい祭り等の誘致事業、宣伝事業のほか、受入事業として観光案内所の運営、観光ボランティア養成講座および観光ガイド等を行っている。

これらのうち、観光ガイドについて、およびまち歩き観光に関する部分について重点的にヒアリングを行った。

土佐観光ボランティアガイド養成講座(土佐観光大学)であるが、平成 25 年は 9 月～12 月に全 13 回行われ、受講者 31 名(修了者同数)となっている。全 13 回のうち 10 回は高知の歴史文化にかかわる講師による講義とお、2 回はガイド実地実習、13 回目はガイドとの交流会及び閉講式となっている。昭和 63 年から平成 25 年まで 3 年程度おきに 10 回開講され、392 名の修了者がおり、そのうち後述する観光ボランティア協会の会員数は 136 名である。

後述する土佐観光ボランティア協会が行っている土佐っ歩は龍馬誕生コースを含め 10 コースのルート案内をしており、年間およそ 1300 名の参加を集め、年々増加傾向にあるとの事である。



土佐っ歩パンフレット

- 土佐観光ボランティア協会

土佐観光ボランティア協会は、平成元年 4 月に土佐観光大学の開催を契機に設立され、平成 22 年 1 月に NPO 法人化した組織である。会員数は設立当初の 47 人から、ヒアリング当時 136 名、平均年齢 69.5 歳との事。

事業としてはコースガイドの土佐っ歩のほか、桂浜、高知城、日曜市の案内、観光バスのガイド、よさこい祭りの臨時案内所などの各種行事の案内などを行う。

観光ガイドは制服があるが、上着に関しては一部自己負担であるとの事。



観光ガイド制服



10 コース

コースは曜日によって決まっており 10 時開始と 14 時開始と別れている。ガイド時間は通常 90 分程度であるとの事。

出発時間		10:00	14:00
11月	1 土	龍馬誕生コース 高知城コース	龍馬誕生コース 半平太コース
	2 日	龍馬誕生コース 日曜市&とさてらすコース	龍馬誕生コース 龍馬青春コース
	3 月	龍馬誕生コース お城下コース	龍馬誕生コース 大政奉還コース
	4 火	龍馬青春コース	龍馬誕生コース
	5 水	大政奉還コース	龍馬誕生コース
	6 木	お城下コース	龍馬誕生コース
	7 金	半平太コース	龍馬誕生コース
	8 土	龍馬誕生コース 龍馬青春コース	龍馬誕生コース お城下コース
	9 日	龍馬誕生コース 日曜市&とさてらすコース	龍馬誕生コース 高知城コース
	10 月	半平太コース	龍馬誕生コース
	11 火	龍馬青春コース	龍馬誕生コース
	12 水	高知城コース	龍馬誕生コース
	13 木	お城下コース	龍馬誕生コース
	14 金	半平太コース	龍馬誕生コース
	15 土	龍馬誕生コース お城下コース	龍馬誕生コース 半平太コース
	16 日	龍馬誕生コース 日曜市&とさてらすコース	龍馬誕生コース 龍馬青春コース
	17 月	大政奉還コース	龍馬誕生コース
	18 火	龍馬青春コース	龍馬誕生コース
	19 水	龍馬青春コース	龍馬誕生コース
	20 木	お城下コース	龍馬誕生コース
	21 金	半平太コース	龍馬誕生コース
	22 土	龍馬誕生コース 半平太コース	龍馬誕生コース 大政奉還コース
	23 日	龍馬誕生コース 日曜市&とさてらすコース	龍馬誕生コース 高知城コース
	24 月	龍馬誕生コース 高知城コース	龍馬誕生コース お城下コース
	25 火	龍馬青春コース	龍馬誕生コース
	26 水	お城下コース	龍馬誕生コース
	27 木	お城下コース	龍馬誕生コース
	28 金	半平太コース	龍馬誕生コース
	29 土	龍馬誕生コース 大政奉還コース	龍馬誕生コース 半平太コース
	30 日	龍馬誕生コース 日曜市&とさてらすコース	龍馬誕生コース 龍馬青春コース

平成 26 年 11 月スケジュール

実際のガイドは龍馬の生まれたまち記念館の解説付き見学から、ゆかりの地を案内していく形式となっている。通常歩いてなかなか気づかないところを解説し

ながらガイドを行っているので、かなりボリュームのある内容となっている。



龍馬の生まれたまち記念館

会の運営は、会員 136 名のうち活動が可能なのが 110 名くらいとのことで、各人平均 4 回/月で活動を行っているとの事である。土佐っ歩のガイド収入のほか各案内所の受託収入（2000 円/日・人程度との事）会費（3000 円/年）などを合わせて、年間収入 1,100 万円程度、ここから、会員の活動費（旅費程度）や各種事務運営、研修などを行っているということである。

ガイドの研修は、高知観光ガイドブック（自主出版、1-3 巻 4 巻作成中）がもとで、各自クリアファイル等でガイド本を作成しそれぞれが情報交換することでガイドの質を高めているということである。観光大学を修了して新規会員となった人に対しては、12 月の観光大学終了後、勉強会を行いながら翌年 1~3 月は各案内所で案内等を行っていくということである。

外国語対応に関しては別の団体で英語・韓国語に対応可能であるということであるが、日程調整を行うということである。

- その他市街地観光について

市街地観光としては高知市では月曜日以外は市内各所で街路市が開かれている。特に高知城追手門から続く追手筋で開かれる日曜日市が有名で、観光ボランティア協会も案内所を設置し対応している。



日曜日市



ボランティア協会の案内所

4. おわりに

高知市における市街地観光の特徴としては、県及び市の協会がそれぞれ具体的な事業を行っていることである。県の協会が MY 遊バスなど、市街地を歩いて観光する面での広域な観光をするための補助的な交通手段を提供し、市の協会では各観光拠点施設の運営や、観光ボランティアの育成を行っている。

市街地を歩いて回るといふ面では観光ボランティア協会が大きな役割を担っていると見える。年間の収入が 1000 万円を超える規模であり、観光ボランティア団体としては比較的大規模に行われている。より多くの施設や祭りなどの行事に多くの人を派遣しているからであり、運営も経費的にはぎりぎりなところで行われているということである。

ヒアリングによると、自己の向上心や達成感に意義を見出し生涯学習的な一面があるという話であった。

高知市において観光の課題は、日曜市はあるが、よさこい祭りの時期を除いた観光客の入込の平準化が課題となっていると思われる。通常期の入込数が少ないとどうしても宿泊施設が多くならず、そのためよさこい祭りに来ても滞在時間が短くなりがちであると考えられる。そのような面で観光ガイドの役割は小さくないと思われる。